

個人情報流出！

懸賞応募や会員登録による個人情報漏えい！



ずっと欲しかった品物がただで手に入る懸賞企画や、アンケートに答えると高価な商品や旅行券、ゲーム等がもらえる楽しい企画は、誰でも興味があります。しかし、これらの中には、あなたや家族の情報を収集し、違う目的に利用しようとするものもあります。

無料懸賞サイト
今なら最新型モバイルPCが当たる！！
会員登録をする。 **クリック**

会員登録
郵便番号
住所
氏名
生年月日
電話
メールアドレス
職種

ガイドに従って入力すると、様々な個人情報を自分で知らせることになる。

数日後

何でこんなに迷惑メールが届くようになったんだろう？

え！
実家では・・・
お子さんが事故で入院されました。すぐに入院費を〇〇銀行に振り込んで下さい。

項目が多いな！でもパソコンのため！

さっそく応募しよう。

ポイント

1 個人情報が盗まれると！

氏名・住所・性別・生年月日・電話番号・メールアドレス・家族構成等、個人を特定できる情報や、他の情報と組み合わせることにより個人を特定できる情報のことを個人情報といいます。これらの情報が悪意のある人に知られてしまうと、振り込め詐欺や迷惑メールに利用されてしまうかもしれません。

さらに、クレジットカード番号等が知られてしまうと、知らないうちに高額な買い物をされてしまう危険もあります。このため、[個人情報保護法（2005年4月完全施行）](#)では、個人情報を取得する場合、その利用目的を明確に示すことを事業者に義務付けています。

2 個人情報が流出する経路

インターネット社会では、様々な場面で個人情報の入力が必要とされます。しかし、会社の個人情報の管理が十分でないと、懸賞サイトやファンクラブ、ショッピングサイトで登録した会員情報が盗まれたり、アンケートに答えた時の情報が会社のミスで漏れてしまったりします。また、最初から個人情報の収集を目的とする偽装サイトもあり、個人情報は様々なところから流出します。個人情報が流出してしまった際、どのようなトラブルが発生するかを常に考え、必要最低限の情報のみ伝えるようにしましょう。

3 個人情報漏えいへの対策

個人情報の登録を求めるサイトでは、運営している会社が実在しているか、信頼できる会社であるか確認してから利用して下さい。また、会社が個人情報をどのような方針で利用・管理するかについて定めた[プライバシーポリシー](#)、収集した個人情報をどのように扱い保護するのかについて定めた[セキュリティポリシー](#)の有無も参考になります。ネット上では、あなたの書込みを誰が見ているか分かりません。不用意に個人情報を記載したり、ネット上で知り合った人には教えないようにしましょう。

個人情報の流出

＜用語解説＞

● 個人情報保護法

コンピュータやインターネットの利用が広まり、氏名、生年月日等の個人情報が大量に取り扱われるようになったのを受け、個人情報を適正に取り扱うことを目的として2005年4月に完全施行された法律。

個人情報取扱事業者を定義し、国や地方公共団体、事業者が守るべき責務を定める。具体的には、個人情報取扱事業者は、個人情報を利用・取得する際には、その利用目的をできる限り明確にし、必要な範囲を超えて個人情報を取り扱ってはならないとした。事業者が集めた個人情報は、本人が開示、訂正、利用停止を要求すると、業者は開示、訂正、利用停止しなければならないことになっている。また、本人の同意を得ないで、個人情報を第三者に提供することを禁止した。

● プライバシーポリシー（個人情報保護規定）

企業や団体が個人情報を取り扱う際、個人情報に関する考え方やルールをまとめた指針。どのような目的で、どのように利用するのか、またどのように管理するのかなどを明文化したもの。個人情報を扱う企業のWebサイトでは、プライバシーポリシーを明示するところが増えている。

● セキュリティポリシー（セキュリティ管理規定）

企業等において、セキュリティ管理についての方針をまとめたもの。特にネットワークやコンピュータシステムに関して作成される場合が多い。

＜事例＞

【事例1】 ネット懸賞の個人情報流出（2007年12月25日）

静岡県焼津市の美術専門店は、顧客の個人情報がインターネット上に流出したと発表した。同社が2004年12月から2005年4月にかけて、Webサイト上で実施した懸賞応募者の氏名や住所、メールアドレス等、個人情報が保存されていたパソコンがウイルスに感染し、インストールされていたファイル交換ソフト「Winny」（ウィニー）を通じて流出した。

【事例2】 楽天市場店舗で個人情報漏えい（2007年6月14日）

楽天市場の店舗において顧客情報が流出。店のパソコンがウイルスに感染し、インストールされていたファイル交換ソフト「Winny」（ウィニー）を通じて流出した。顧客の氏名や住所、電話番号、発注内容等の個人情報が含まれていた。

【事例3】 高校生に学校の名簿の提供を求める業者（2006年12月22日）

「クラス名簿、部活名簿、同窓会名簿等を貸してくれたら、3,000円の図書券を進呈する」という内容で、高校生を景品等で釣って名簿を取得する事例が起こっている。高校生は図書券にひかれ、名簿に掲載されている生徒への影響も考えず、名簿を提供する恐れがある。

【その他】

◇占いサイトで、個人情報（名前や生年月日、その他メールアドレスや携帯電話番号等）を収集。一時期流行った電話番号占いでは、入力された電話番号がすべてデータベース化され、取引された。

◇プレゼント応募で集められた名簿が取引されることがある。プレゼント応募者は、その品物が欲しい消費者として判断され、名簿が取引される。例えば化粧品のプレゼント企画に応募してきた人は、化粧品に興味があると判断されます。